

⑦ センター運営のための“基盤強化”を行います。

「だれもが利用しやすいセンターづくりをしたいな」
「どうすればセンターが活発になるのかな」
「独自の財源でいろんな事業展開が図れるといいな」



7-1 専従職員の配置による、「専門性」を活かした相談・支援体制を図ります。

地域のボランティアニーズに即座に応えられる「専門性」と「事務局員体制」の充実により、センター活動の推進につながる“基盤強化”を図ります。

たとえば…

- ・ボランティアコーディネーターの専従体制の構築。
- ・専門性を活かした相談、支援体制の基盤強化。
- ・センター事務局の人員体制の基盤強化。(人数体制づくり)
- ・センター職員の専門性の習得。



※センター事務局の様子

7-2 運営体制の強化を図ります。

市民の財産であるセンターとして、より多くのボランティアニーズに応えられるために“運営体制の基盤強化”を図ります。

たとえば…

- ・ 広範な領域のボランティア活動のセンター登録による運営の推進とあり方の検討。
- ・ 市、社協等関係機関との連携による、センター機能の充実と環境整備。
(財源・人員体制・バリアフリー化・事務機材整備等)

7-3 自主財源の確保による財政基盤の強化を図ります。

“財政基盤強化”の一環として、「自主財源確保」のシステムづくりを検討します。

たとえば…

- ・ 寄付金制度の創設。
- ・ センター運営支援金の開設。
- ・ 研修、講座の有料化。

